



福祉

児童虐待防止の地域対策協議会の早期設置を

問 児童虐待を防止する地域対策協議会の早期設置を行なうべきではないか。

答 当市では平成十六年度三十一件、平成十七年度三十一件の虐待相談が、川越児童相談所で取り扱われています。対策については本庁舎に二名、総合支所に一名の職員を配置し、児童虐待防止ネットワーク会議との連携をしています。

保育料の値上げは子育て支援策に逆行するが

問 保育料の値上げは子育て支援策に逆行し、私は反対だがどうか。

答 合併前の保育料を継承しているため、料金の統一と保育内容の同一化が急務です。料金水準は県内でも低く、市の財政を圧迫しています。保

護者の影響を緩和することを念頭に置いての改正案です。子育て支援を継続的に維持するため、値上げすることを理解いただきたい。

出産育児金を委任払い制にしては

問 出産育児金が十月より三万円となった。出産時にける病院への支払いを自己負担のみにできないか。（委任払い制度）

答 平成十九年四月から実施いたします。

障害者就労支援施設はきめ細かな施設展開を

問 障害者就労支援施設の建設は、立派な施設を一つだけつくるという考えよりも、非営利の民間団体の協力も得ながら、さまざまな障害の状況に応じた、きめ細かな施設展開ができるよう総合的に進めるべきだ。

答 現在、障害福祉計画を策定中で、民間の協力も視野に入れ、柔軟な対応をしていきます。就労支援センターは、平成十九年に開設予定です。

上福岡駅にエレベーター設置を

問 東武鉄道は、バリアフリー化促進計画として、平成二十二年までに駅のエレベーター設置を進めているが、上福岡駅に早期の設置を。また構内トイレは、ホームの端にあるものを利用しやすい場所に移動できないか。

答 東武鉄道にエレベーター設置計画を早めるように要望します。トイレは、障害者用を設置する時に一般用を要望します。

基本健診の結果と今後の予定は

問 基本健康診査の結果と今後の事業予定はどうか。

答 動脈硬化などを引き起こす「高脂血症」が半分近くで、次に「高血圧症」「糖尿病」の順になります。今後は、生活習慣病予防教室、健康相談、健康教育事業はもとより、健康

体操を考慮した事業を導入するなど、保健指導に一層取り組みます。

「食事バランスガイド」作成と栄養教諭配置を

問 食育推進計画の策定と年齢性別に応じた一日の食事をイラストで表示した「食事バランスガイド」を作成し、市民への啓発の実施と栄養教諭の配置を。

答 食育推進計画の策定時に、食事バランスガイドも検討します。栄養職員が、栄養教諭に必要な研修を受けています。

高齢者世帯に「困りごと援助サービス」を

問 ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯に日常生活のちよつとした困りごと（電球交換・家具移動・荷物の上げおろし等）の援助サービスの実施を。

答 平成十九年四月から市内四カ所に設置する地域包括センターで、地域のボランティアを配置し、高齢者の総合的な相談や高齢者世帯が求める支援を実施する予定です。

一般質問

転倒予防体操サポーター講座の実施は

問 介護予防事業、転倒予防体操のサポーター講座の実施と、その成果見込みはどうか。

答 事業の内容は寝たきり予防を中心に、平成十九年二月から三月までの間に六回の講座と実技を開催します。地域住民同士の高齢者の健康、転倒予防対策の普及に取り組めます。

国保は市独自の減免策を

問 国保の市独自の減免制度をつくるべきだ。保険証を使いやすいものに改良すべきだ。

答 減免は法律の範囲で行ないます。保険証については検討します。

建設国保負担金の増額を

問 建設国保の負担金の増額を。

答 負担金は平成十八年市長会特別負担金とし、一人当たり二五〇円を補助、一定の成果を上げています。平成十九年度は予算編成に向けた補助

豊かな学びの場づくり



学校

東台小の学区説明会を

問 東原小が目の前にあるのに、なぜ東台小に行かなくてはならないのかなどの声を聞く。開催曜日や時間等を検討して、再度、説明会の開催を。

答 学区編成等の審議結果については、地域の回覧、マンション管理組合や保育所等の掲示板を通して周知を図りました。説明会の予定はありません。

鶴ヶ舞二・三丁目には西小の通学区に

問 鶴ヶ舞二・三丁目地区は、西小学校の通学区に変更すべきではないか。

答 現在、地域住民から通学区変更の要望がないので、考えていません。

金見直し方針に照らし合わせ、公益性・費用対効果・必

交通指導員を補充して

問 交通指導員が補充されないまま放置され、登下校の安全対策の協議も行なわれていない。直ちに対策を講じるべき。

答 日常的に発生する問題は、その都度対応していますが、下校時などの安全対策は教育委員会と調整し、十二月中旬に会議を開きます。

児童生徒の問題行動と求められる教師像は

問 マナー・モラルの低下や児童生徒の問題行動への対応と、求められる教師像は。

答 諸課題は「人間育成」「教育」の根幹にかかわること、地域の教育力も活用し、教育活動全体で取り組んでいきます。子どもが好きで愛情を

中学生等の居場所づくりや相談室の充実を

問 中学生等の問題行動、不登校が拡大しており、居場所づくりや相談室の充実など有効な対策はないのか。

答 今子どもたちに必要なのは物理的な施設ではなく、心の居場所となる家庭、地域で、いつも見守っているという雰囲気づくりが大切であると考えています。

学校施設の手入れを

問 学校を見ると外壁が汚れ、体育館屋根の塗装が落ちている。早急の手入れが必要では。

答 耐震補強工事と並行して、予算の範囲内での工事が可能であれば考えていきたい。

学校のお朽化対策を

問 学校の老朽化に対し「市内における平等の教育環境・人を育てるのにふさわしい施設か」との視点で対策を。

答 照度不足、雨漏りその他

■新井光男

①安全なプール実現②小中学校の雨漏り③大井坂上の国道拡幅と同地下道の修繕④東西連絡道路等の事業は中止を

■足立志津子

①循環バスで交通権を保障②少額所得者の住民税減免制度③中小工商业者支援④アスベスト対策で住民健康調査

■高橋順子

①農業の現状に対する認識について②元福岡地域の水害対策 給食センター！防犯灯等③少子化対策関係の見解等

■青山博明

①新年度予算編成の見直しと財源確保について②合併特例債の活用事業③大井プール事故について

■鈴木啓太郎

①流水プールに潜む危険について②児童虐待の現状と対策③不登校児童に対する地域の役割④いじめホットライン

■石山皓一郎

①介護予防事業の取り組み②生活習慣病予防の取り組み③サービスセンターの利用状況について

■山口公悦

①契約違反業者との契約問題②上野台団地防犯対策③交通指導員の欠員放置④子育て支援に反する保育料値上げ

■塚越洋一

①プール事故と業務委託問題②障がい者就労支援施設の建設計画③市総合振興計画と市民参加④コネ市営駐車場

■小高時男

①消費生活センターの充実②防犯カメラの設置③東台小は財政負担にならないか④事故調査委員会の報告を受けて

■小峰敏彦

①国登録有形文化財旧大井村役場について②学校施設 増加傾向と減少傾向について③障害者支援相談室について

について、三カ年実施計画 国の補助制度の活用などを考慮し、計画的に整備します。

学童保育施策の充実を

問 学童保育は内容と水準を守り、施策の充実を。児童館は放課後児童対策として、児童センターは全児童対策として役割を明確にせよ。

答 利用児童が多く、施設面運営面に課題があります。旧市町の運営方法を継続しつつ充実を図ります。児童館運営は次世代育成支援行動計画の中でも、重点課題として審議しています。

学校図書費の増額を

問 学校図書費が年々減少している。新刊本を含めた多様な要望に応えるために予算を増やすべきではないか。

答 図書の充足率は標準に近づいており、不足を生じさせていることはありません。